

地 域 経 済 動 向

平成 23 年 5 月 30 日



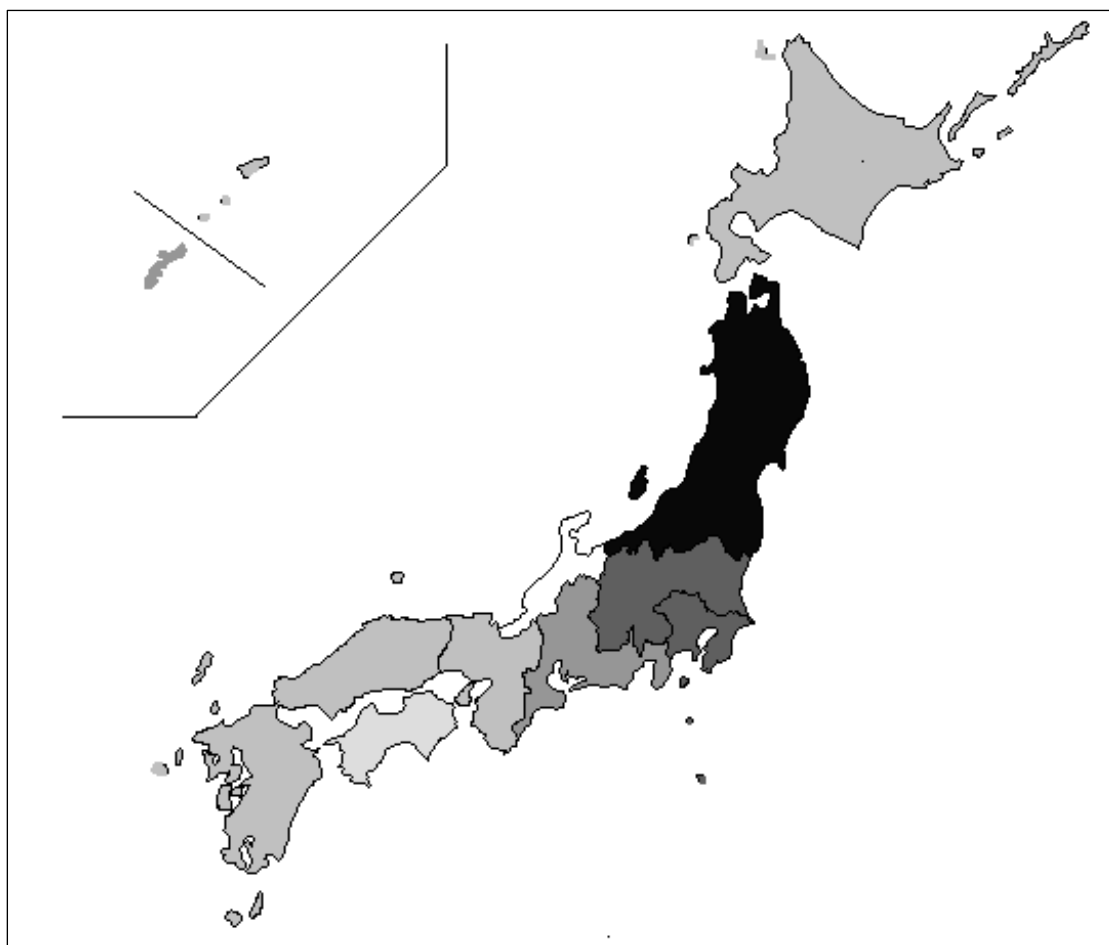
内閣府政策統括官室
(経済財政分析担当)

目 次

- 1 概況
- 2 トピック
- 3 地域別の動向
 - (1) 北海道
 - (2) 東北
 - (3) 北関東
 - (4) 南関東
 - (5) 東海
 - (6) 北陸
 - (7) 近畿
 - (8) 中国
 - (9) 四国
 - (10) 九州
 - (11) 沖縄
- 4 主要指標
- 5 参考資料

1 概況

(1) 各地域の景況判断



- ・緩やかに持ち直している - 北陸
- ・持ち直しの動きがみられる - 四国
- ・東日本大震災の影響により、弱含んでいる - 北海道、近畿、中国、九州
- ・東日本大震災の影響により、弱まっている - 東海、沖縄
- ・東日本大震災の影響により、大幅に悪化している - 北関東、南関東
- ・東日本大震災の影響により、極めて大幅に悪化している - 東北

地域区分

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
北関東	茨城、栃木、群馬、山梨、長野
南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
北陸	富山、石川、福井
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

以下、特に断りがない限り、地域区分は上記のとおりとする。

今回調査（平成23年5月）の前回調査（平成23年2月）との比較

上方に変更した地域・・・なし

下方に変更した地域・・・9地域（北海道、東北、北関東、南関東、東海、近畿、中国、九州、沖縄）

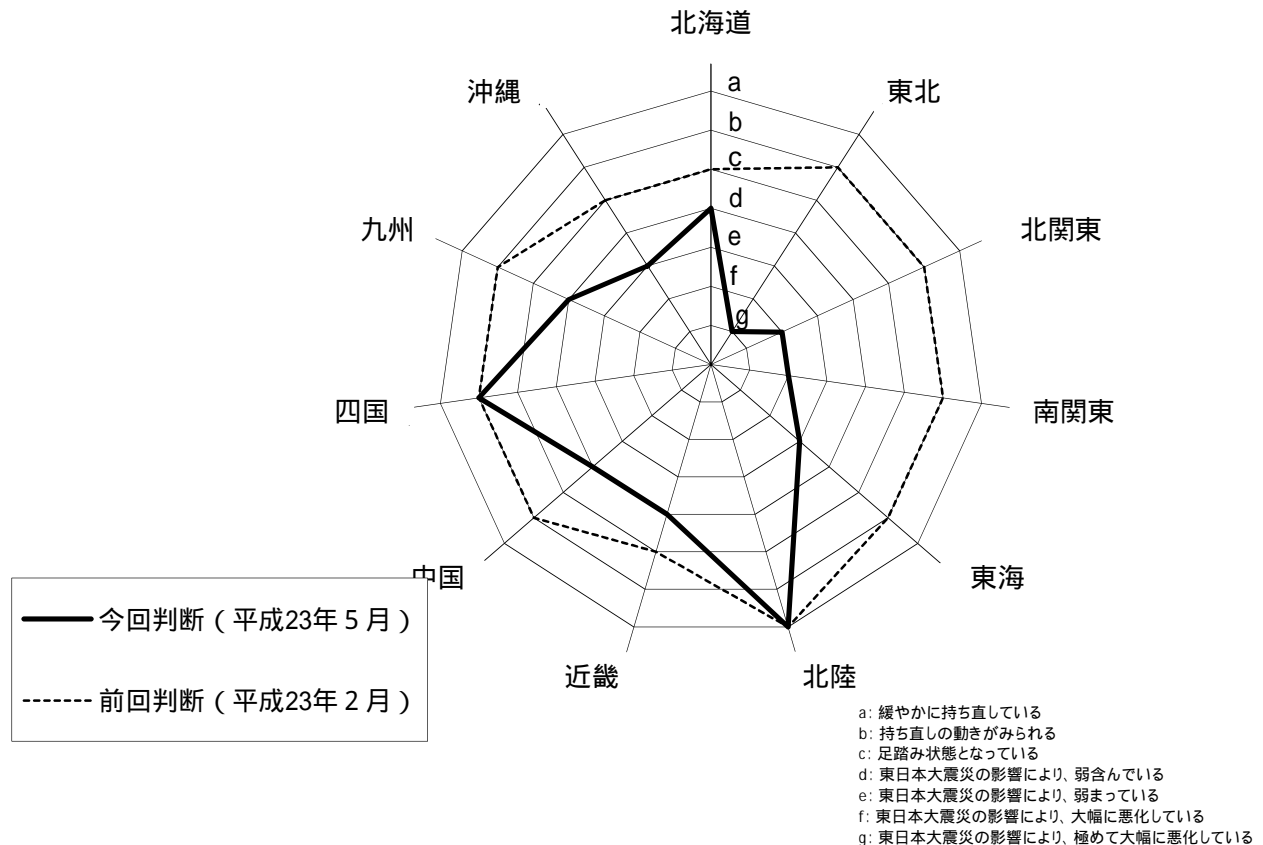
各地域の景況判断は、北海道、東北、北関東、南関東、東海、近畿、中国、九州、沖縄では鉱工業生産などを理由として、下方修正となった。

その他2地域（北陸、四国）の景況判断については、前回調査（平成23年2月）と同じである。

各地域の景況判断	北海道	東北	北関東	南関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
緩やかに持ち直している											
持ち直しの動きがみられる											
足踏み状態となっている											
東日本大震災の影響により、弱含んでいる											
東日本大震災の影響により、弱まっている											
東日本大震災の影響により、大幅に悪化している											
東日本大震災の影響により、極めて大幅に悪化している											

（備考） は、今回調査の判断。 は、前回調査（平成23年2月）の判断。

各地域の景況判断



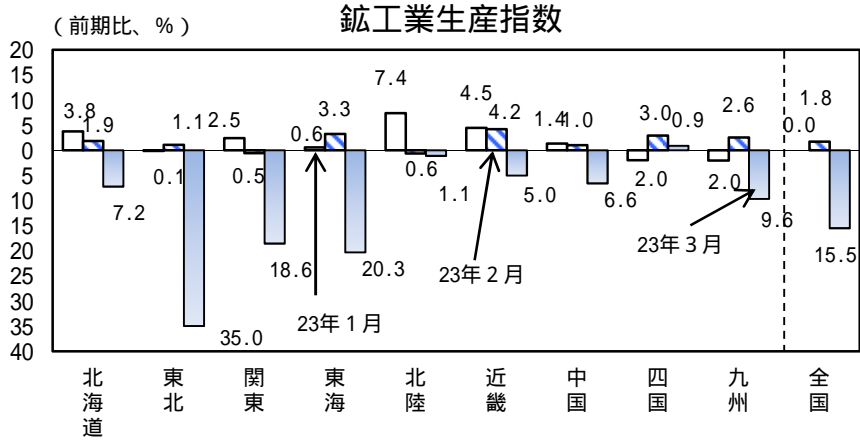
(2) 各地域の景況判断と主要変更点

		北海道	東北	北関東	南関東	東海
景況判断	2月 (前回)	足踏み状態となっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
	5月 (今回)	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	東日本大震災の影響により、極めて大幅に悪化している	東日本大震災の影響により、大幅に悪化している	東日本大震災の影響により、大幅に悪化している	東日本大震災の影響により、弱まっている
		↓	↓	↓	↓	↓
鉱工業生産 (沖縄は観光)	2月	おおむね横ばいとなっている	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きがみられる		持ち直しの動きがみられる
	5月	東日本大震災の影響により、減少している	東日本大震災の影響により、極めて大幅に減少している	東日本大震災の影響により、大幅に減少している		東日本大震災の影響により、大幅に減少している
個人消費	2月	おおむね横ばいとなっている	持ち直している	持ち直している	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている
	5月	おおむね横ばいとなっている	東日本大震災の影響により、大幅に減少している	東日本大震災の影響により、弱い動きとなっている	東日本大震災の影響により、減少している	おおむね横ばいとなっている
雇用情勢	2月	厳しい状況にあるものの、下げ止まっている	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	厳しい状況にあるものの、持ち直している	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
	5月	東日本大震災の影響により、弱含んでおり、厳しい状況にある	東日本大震災の影響により、急速に悪化し、更に厳しい状況にある	東日本大震災の影響により、悪化し、厳しい状況にある	東日本大震災の影響により、悪化し、厳しい状況にある	東日本大震災の影響により、弱含んでいる

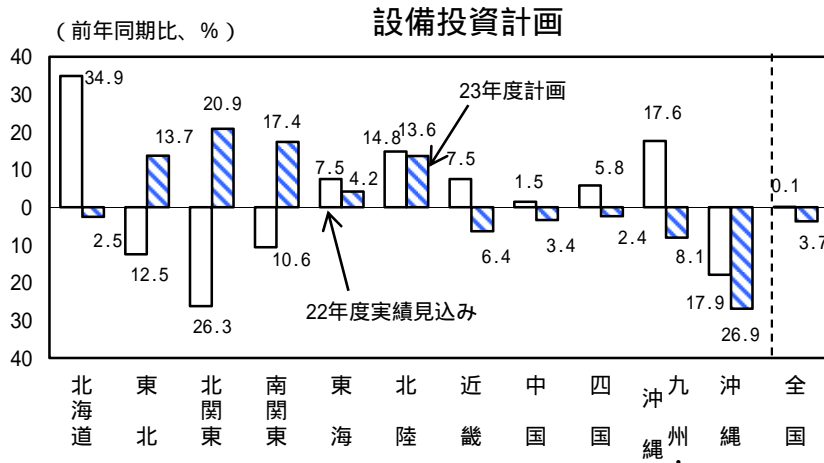
(注) は上方に判断を変更、 は変更なし、 は下方に判断を変更。

北 陸	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
緩やかに持ち直している	足踏み状態となっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	足踏み状態となっている
緩やかに持ち直している	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	持ち直しの動きがみられる	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	東日本大震災の影響により、弱まっている
⇔	↓	↓	⇔	↓	↓
緩やかに持ち直している	おおむね横ばいとなっている	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	おおむね横ばいとなっている
緩やかに持ち直している	東日本大震災の影響により、減少している	東日本大震災の影響により、減少している	持ち直しの動きがみられる	東日本大震災の影響により、減少している	東日本大震災の影響により、大幅に減少している
持ち直している	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている	持ち直しの動きがみられる
おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている	おおむね横ばいとなっている
持ち直している	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	持ち直している	厳しい状況にあるものの、持ち直している	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	極めて厳しい状況にあるものの、下げ止まりつつある
厳しい状況にあるものの、持ち直している	東日本大震災の影響により、弱含んでおり、厳しい状況にある	持ち直している	厳しい状況にあるものの、持ち直している	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	東日本大震災の影響により、悪化し、極めて厳しい状況にある

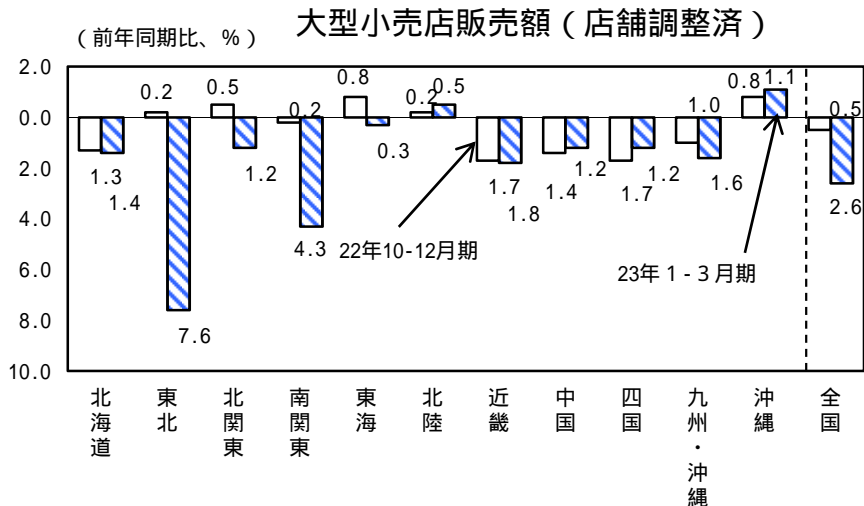
地域経済動向（5月）の主要指標の動き



- (備考) 1. 経済産業省、各経済産業局、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、により作成。
23年1～2月は確報値。23年3月は速報値。なお、全国、東海、北陸、近畿の23年3月は確報値。
2. 地域区分はB（82ページ参考資料(1)参照）。

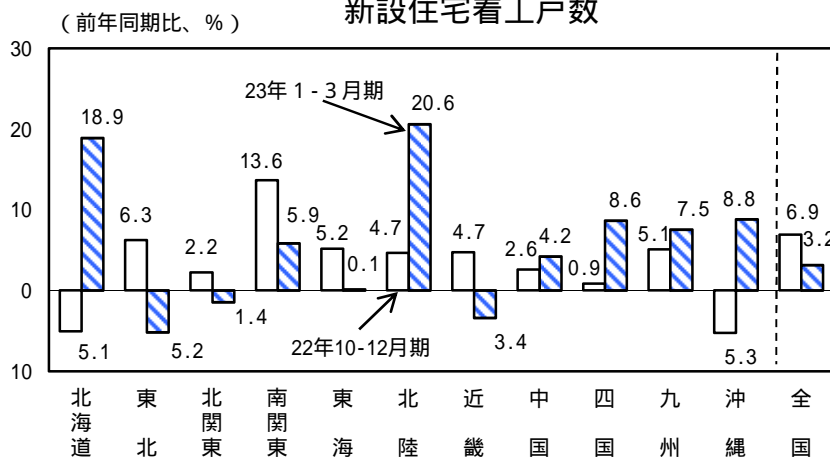


- (備考) 日本銀行各支店「企業短期経済観測調査」（23年3月）により作成。
ただし、北関東は日本銀行前橋支店管内（設備投資額にソフトウェアを含む）、
南関東は神奈川県。
22年9月調査よりリース会計対応ベースに変更。



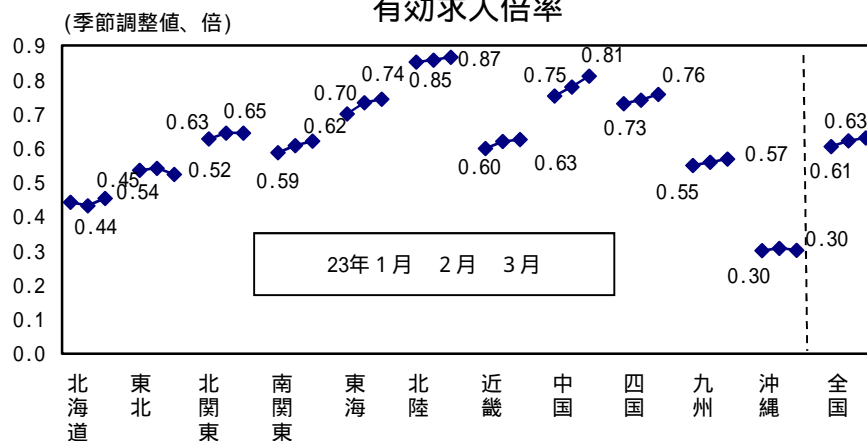
- (備考) 1. 経済産業省「商業販売統計」により作成。
2. 北関東は、新潟、静岡の2県を含む関東経済産業局「東京圏以外」。南関東は同「東京圏」。
東海は、愛知、岐阜、三重の3県。地域区分はB（82ページ参考資料(1)参照）。

新設住宅着工戸数



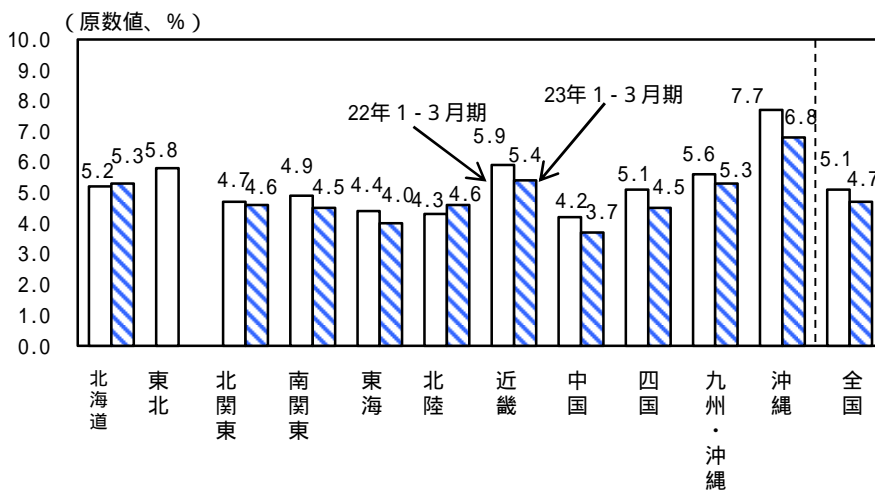
(備考) 国土交通省「建築着工統計」により作成。

有効求人倍率



(備考) 1. 厚生労働省「一般職業紹介状況」により作成。

完全失業率



(備考) 1. 総務省「労働力調査」、沖縄県「労働力調査」により作成。
 2. 地域区分はC(82ページ参考資料(1)参照)。
 3. 東北地域の23年1～3月期のデータは未公表。

2 トピック

<トピック1> 東日本大震災の影響により、サプライチェーンの寸断などの供給制約などから、東北、関東、東海を中心に多くの地域で減少した鉱工業生産

鉱工業生産について、23年3月の前月比増減率を地域別にみると、東日本大震災の影響により、多くの地域で減少した(図表1)。特に東北、関東、東海では、ひと月の減少率としては、リーマンショック後のマイナスよりも大きかった。また、阪神・淡路大震災が起きた7年1月の近畿(4.7%減)と今回の東北(35.0%減)と比較しても、今回は極めて大幅な減少となっている。

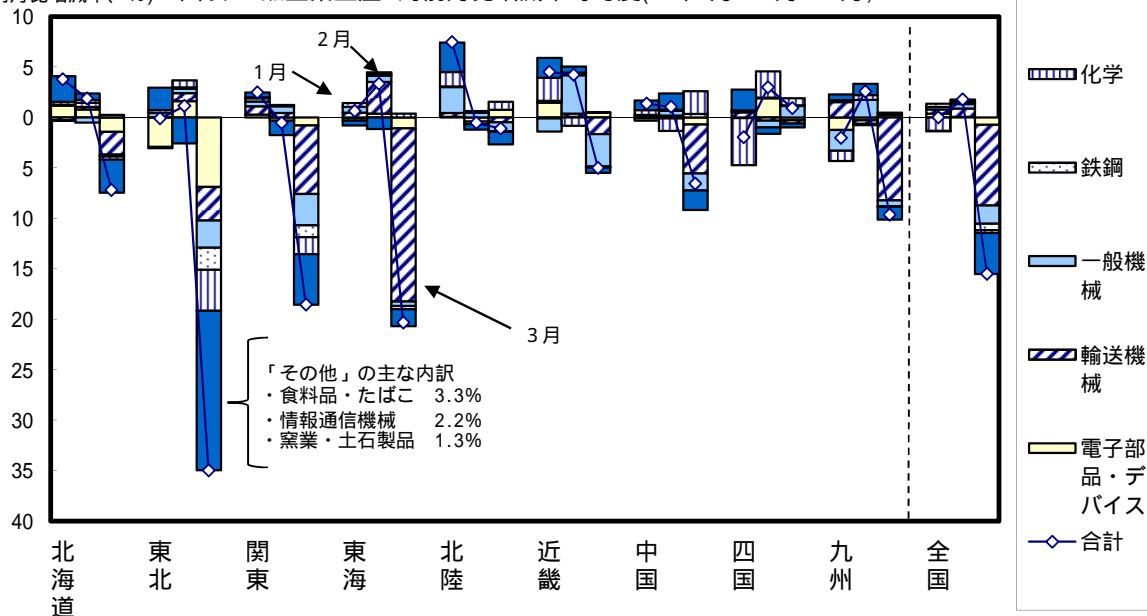
3月の鉱工業生産を業種別にみると、東北では、電子部品・デバイス、化学などが生産活動の停止などにより大幅に減少した。また、関東、東海、中国、九州では、輸送機械が部品の供給不足などによりマイナスに大きく寄与した。他方、四国が増加したのは、化学、一般機械などの需要が堅調であったことなどによる。また、北陸の減少幅が他地域よりも小さいのは、一般機械の部品の供給不足などがマイナスに寄与したものの、電子部品・デバイスがスマートフォン関連を中心に堅調な生産を維持したことや、震災以降に代替生産を担った業種(電子部品・デバイス)が一部にあることなどによる。このように、四国、北陸では震災の影響は他地域に比べて小さかったと考えられる(図表2)。

経済産業省の製造工業生産予測調査結果(全国)をみると、前月比伸び率は4月3.9%増、5月2.7%増と、ともに増加が見込まれており、先行きについては、サプライチェーンの立て直しや復興需要などにより、輸送機械や一般機械を中心に生産は持ち直していくことが期待される。

図表1 リーマンショックとの鉱工業生産前月比増減率の比較

		北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	全国
東日本大震災	23年3月	7.2	35.0	18.6	20.3	1.1	5.0	6.6	0.9	9.6	15.5
	リーマンショック(20年9月)										
	20年12月	5.8	12.8	8.2	9.7	7.0	5.2	9.3	5.0	10.4	8.4
	21年1月	1.9	6.0	6.7	9.7	7.8	8.6	10.9	5.8	11.7	8.4
	21年2月	4.6	9.8	9.4	14.4	3.6	4.4	0.7	6.5	9.7	8.6

(前月比増減率、%) 図表2 鉱工業生産 対前月比増減率寄与度(23年1月 2月 3月)



(出所)図表1、2: 経済産業省、各経済産業局、中部経済産業局・ガス事業北陸支局「鉱工業生産動向」により作成。

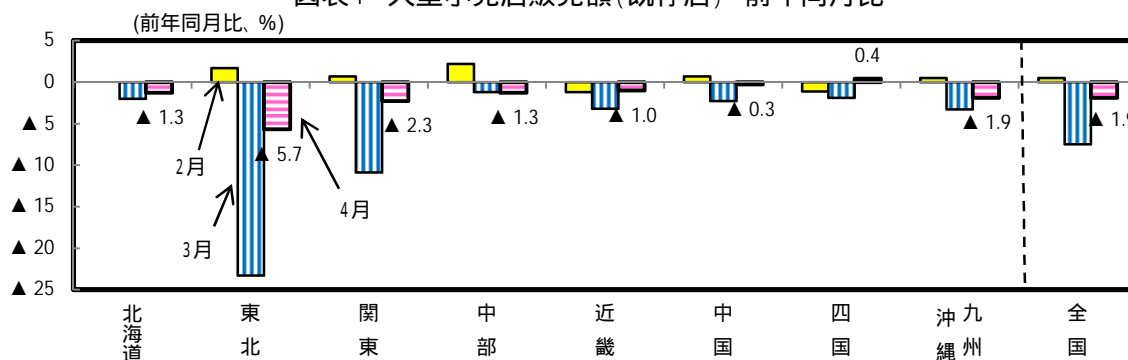
(注)図表1におけるリーマンショック後として掲載した時期はリーマンショックの影響が顕著に表れた時期。

<トピック2> 東日本大震災の影響が薄まった個人消費

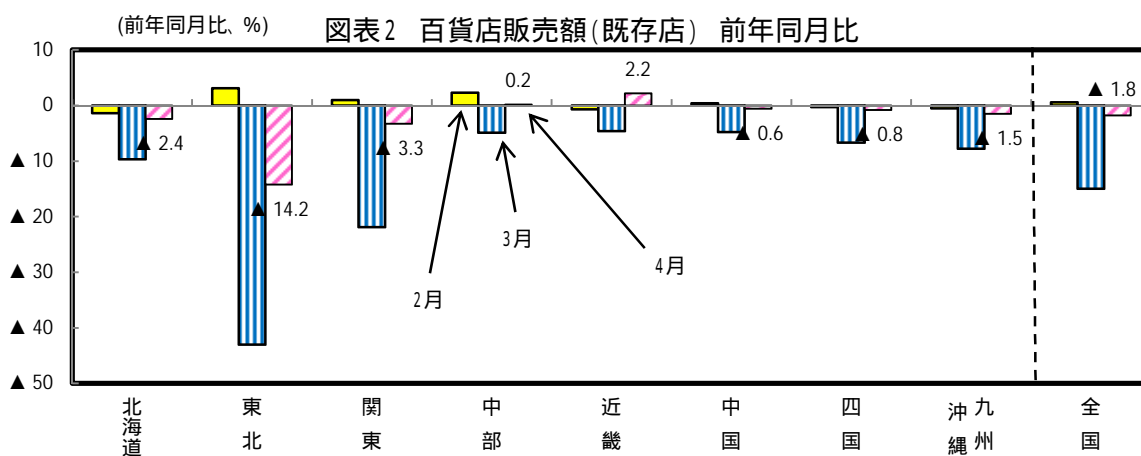
大型小売店販売額は、東日本大震災後の自粛ムードなどによる買い控えなどから、全ての地域で3月に前年比の減少率が拡大し、特に東北、関東では大幅な減少となった。しかし、4月は自粛ムードの弱まりなどから、東北、関東などで減少幅が縮小するなど、東日本大震災の影響が薄まった(図表1)。また、大型小売店の中では特に百貨店の販売額が、3月は震災後の高額商品の買い控えなどにより、減少幅が大きかったが、4月は多くの地域で減少幅が縮小した(図表2)。

旅行関連の動向をみると、全国の主要旅行業者取扱金額(国内旅行)は、3月に31.5%減となり、大幅に減少した。沖縄への入域観光客数や北海道への来道者数をみると、東日本大震災後の自粛ムードにより、旅行分野でのキャンセルの続出がみられたこともあり、3月に前年比で大幅に落ちこんだ。観光への依存度の高い両地域では、4月には北海道でやや減少幅の縮小がみられたものの、依然として厳しい状況が続いており、地域経済へのマイナスの影響が懸念される(図表3)。

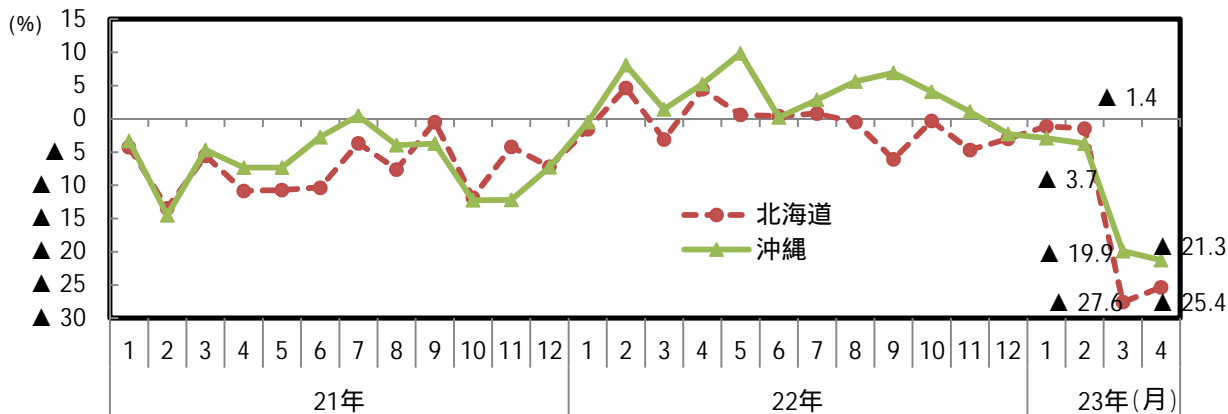
図表1 大型小売店販売額(既存店) 前年同月比



図表2 百貨店販売額(既存店) 前年同月比



図表3 入域観光客数(沖縄)・来道者数 前年同月比



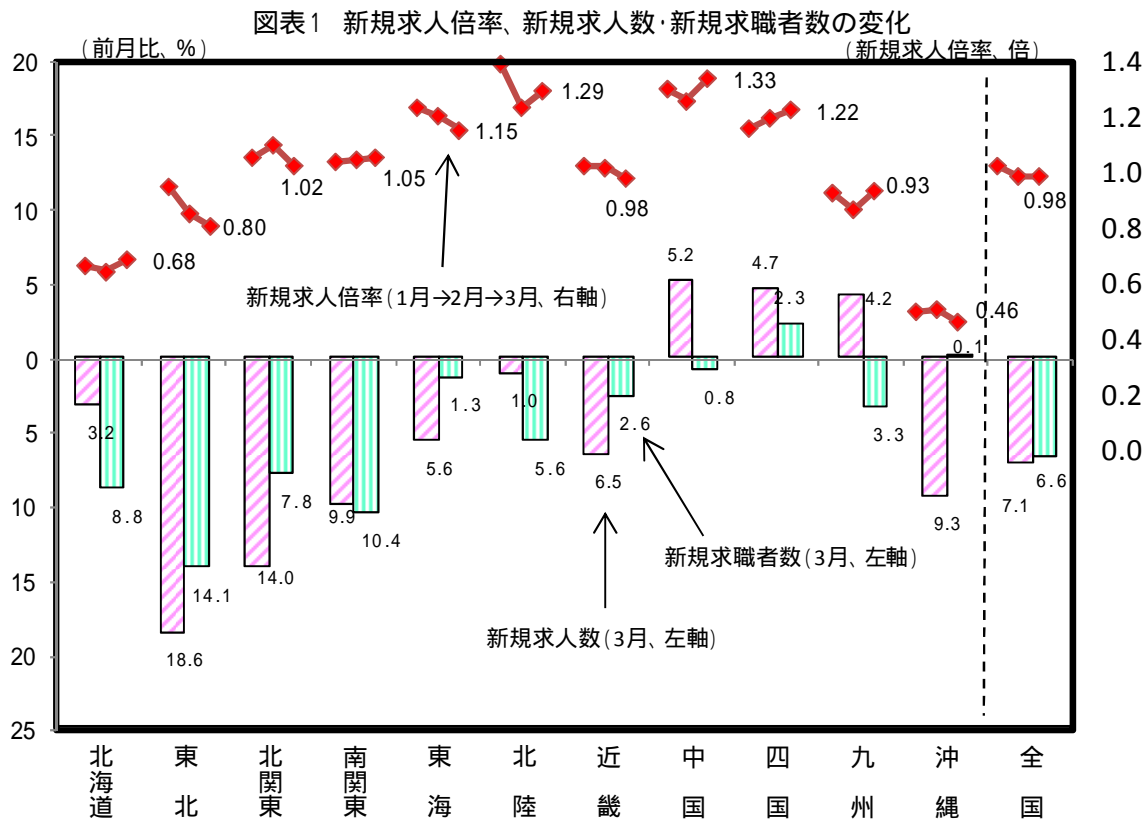
(出所)図表1、2:経済産業省「商業販売統計」、図表3:社団法人北海道観光振興機構「来道者調査」、沖縄県「入域観光客統計概況」より作成。
 (注)北海道への来道者数とは、鉄道、船、飛行機(国内空港発の日本の航空会社の定期便)で北海道に来た人数であり、観光客のほか、出張者等を含む。

<トピック3> 東日本大震災の影響により、多くの地域で厳しい雇用情勢に

3月の新規求人数の前月比増減率は、東北、北関東、南関東、東海などで大幅に減少した。こうしたこともあり新規求人倍率は、東北、北関東、東海などで前月に比べて低下した(図表1)。

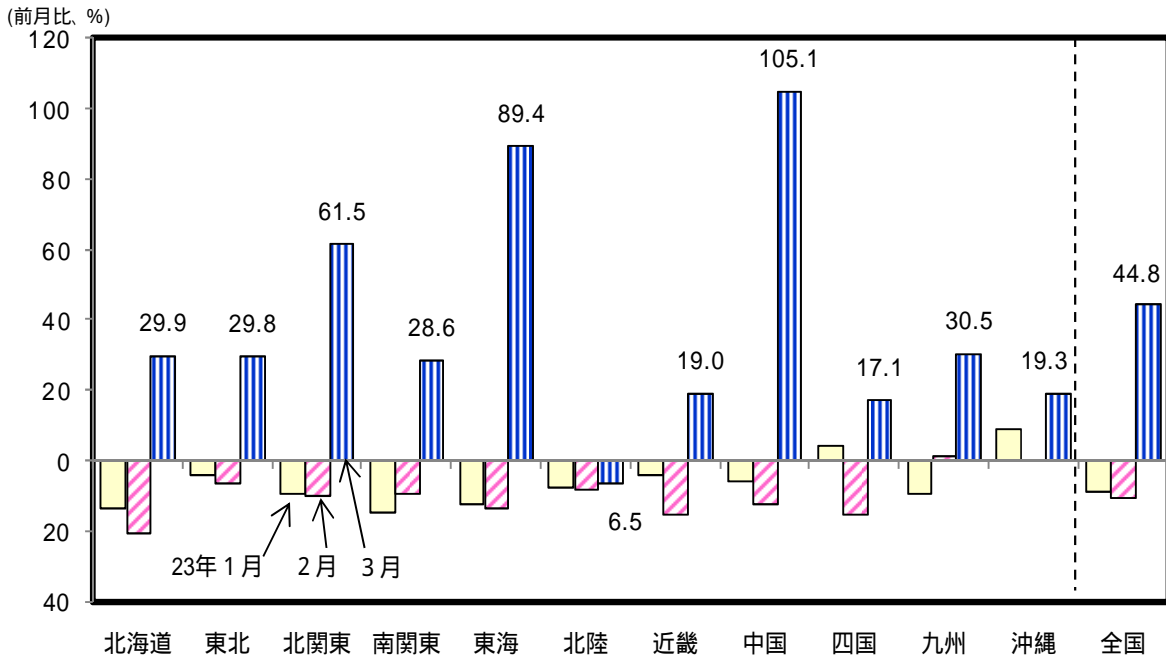
雇用調整助成金に係る休業等実施計画届受理事業所の対象者数をみると、被災地である東北に加え、中国、東海、北関東、九州などでも大きく増加している。これは、被災地域以外の多くの企業でも、助成金を利用して雇用の維持を図っており、電力不足など供給面の制約や需要の収縮に対して、企業の雇用調整圧力が大きくなっていることを表している(図表2)。

大学等卒業者の就職内定状況をみると、就職内定率が全国で91.1%と低い水準となった。地域別にみても、関東を除く全ての地域で前年を下回っており、新卒者の就職の厳しさがうかがえる(図表3)。

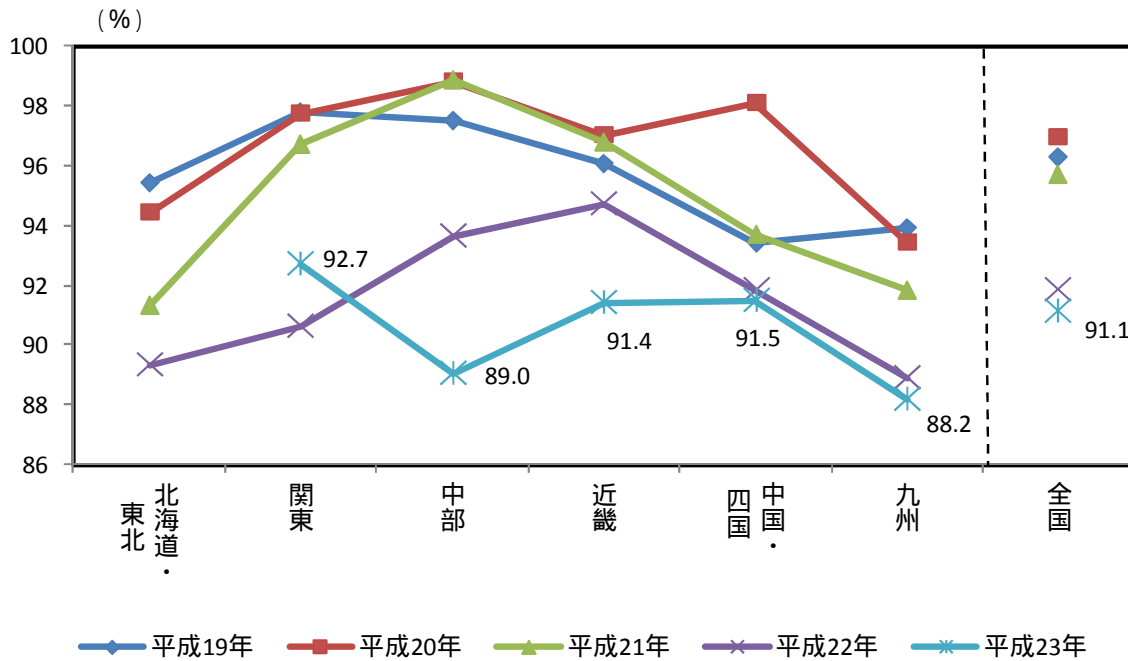


(出所)図表1:厚生労働省「一般職業紹介状況」により作成。

図表2 雇用調整助成金に係る休業等実施計画届受理事業所の対象者数



図表3 大学等卒業者の就職内定率



(出所)図表2:厚生労働省「雇用調整助成金等に係る休業等実施計画届受理状況、支給決定状況及び大量雇用変動届提出状況」、図表3:厚生労働省「大学等卒業者の就職状況調査」により作成。

(備考)1. 図表3は、各年とも4月1日現在の数値。

2. 図表3では、北海道・東北の平成23年4月の数字は震災のため集計されていない。